

## 自立訓練（生活訓練）

基本的な操作方法については、操作マニュアル(共通編)をご参照の上、ここでは、自立訓練(生活訓練)に関するサービス提供実績記録等の入力方法を説明します。

### 1 事業者情報（提供サービス編集）

「事業者情報管理画面」で以下の内容を入力します。サービス種類によって、必須入力の項目が異なり、入力必須項目は、ラベルの色が黄色になっています。

<基本項目>

事業者情報提供サービス情報メンテナンス画面

サービス種類: 自立生活訓練 | サービス提供単位番号: 1062 | 提供単位番号名

基本項目: 追加項目 | 追加項目 | 標準項目

**基本要件**

提供事業者番号: 9310000001 | 主たる事業者情報コピー

提供事業者名カナ: 株式会社ああ

提供事業者名略称: ああああああああああああ

提供事業者名正式名: ああああああああああああああ

利用定員: 30 | 算定用定員区分: 21人以上40人以下

施設区分: 多機能型等定員区分

児童施設区分: みなし指定の有無

人員配置区分: 経過的居宅介護利用型

単位数単価: 1062

単位数単価・差延性分: 1062

緊急改善助成金対象: 無

主たるサービス種類: 施設入所支援 | 緊急改善キヤリアス区分: 非該当

<加算区分>

事業者情報提供サービス情報メンテナンス画面

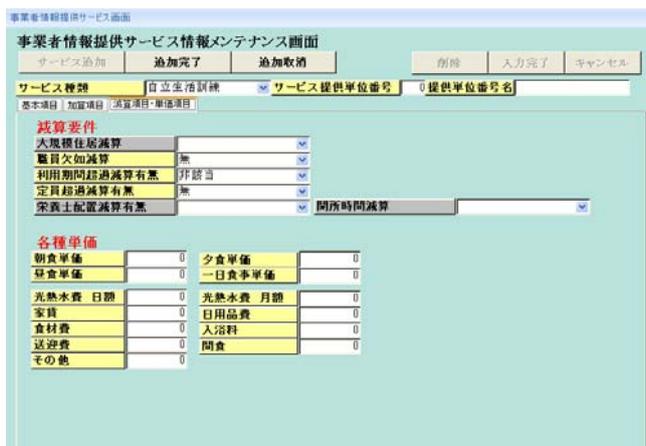
サービス種類: 自立生活訓練 | サービス提供単位番号: 1062 | 提供単位番号名

基本項目: 追加項目 | 追加項目 | 標準項目

**加算要件**

送迎加算実施	無	送迎加算(重症)	
看護師体制加算	無	小規模事業加算	
施設行動特別支援加算		常勤医師加算	
視覚覚言語支援体制	無	食事提供体制加算	無
自立訓練加算Ⅰ		訪問訓練	無
自立訓練加算Ⅱ		自立生活支援加算	
重症障害者支援加算		精神内科医加算	
重症障害者支援加算基本		短期滞在加算	無
重症障害者支援加算重症		日曜土質達成加算	
重症障害者支援加算Ⅱ		自立生活達成加算	
重症重複加算		夜間支援体制加算	
就労移行支援体制		精神退院支援施設加算	無
栄養士配置加算			
リハビリテーション加算		通勤者生活支援加算	
福祉専門職員配置加算	無	就労支援団体研修了加算	
地域移行個別支援体制加算		目標工賃達成臨時加算	
特定事業加算区分		単独型加算	
相談特定事業加算区分		人員配置体制加算	
指導員加算加算		地域移行支援体制強化加算	
重症者支援体制加算		困難者専門職員配置加算	
夜勤職員配置加算			
福祉介護職員加算(自給加算)	無	緊急短期入所体制確保加算	
就労定着実績区分		宿泊夜間防炎-緊急時加算	
職員指導体制加算		重症知的障害児収容費	
難件不自由児施設重症併存		心理担当職員配置加算	
小規模グループケア加算		児童発達管理責任者兼任加算	

<減算項目・単価項目>



■入力項目説明			
項番	項目名	必須	説明
1	利用定員	◎	利用定員を入力します。
2	算定用定員区分	◎	算定用定員区分を選択します。
3	単位数単価	◎	単位数単価を入力します。 単位数単価の入力は<<別紙 単位数単価の入力について>>をご覧ください。 ※所在地が名古屋市の場合は黄色の部分を参照してください。平成27年までは年度によって単価が異なります。注意してください。
4	処遇改善助成金対象	○	処遇改善加算対象の場合、「有」を設定してください。
5	主たるサービス種類	○	主たるサービス種類を設定します。
6	処遇改善キャリアパス区分	○	処遇改善加算対象の場合設定します。区分により、算定される単位数が変わります。
7	送迎加算実施	○	送迎加算実施体制を選択します。
8	視聴覚言語支援体制加算	○	視聴覚言語支援体制加算の有無を選択します。
9	食事提供体制加算	○	食事提供体制加算の有無を選択します。
10	訪問訓練加算	○	訪問訓練加算の有無を選択します。
11	短期滞在加算	○	短期滞在加算の有無を選択します。
12	精神退院支援施設加算	○	精神退院支援施設加算を選択します。
13	福祉専門職員配置加算	○	福祉専門職員配置加算の有無を選択します。
14	福祉介護職員処遇改善特別加算	◎	処遇改善特別加算の算定対象の場合「有」を設定してください。ただし、処遇改善加算「有」の場合、処遇改善特別加算は算定されません。

15	職員欠如減算	○	職員欠如減算の有無を選択します。
16	利用期間超過減算有無	○	利用期間超過減算の有無を選択します。
17	定員超過減算有無	○	定員超過減算の有無を選択します。

（必須欄：◎必須、●条件付必須、○任意、－入力不要）

## 2 対象者情報

「対象者管理画面」で以下の内容を入力します

項番	項目名	必須	説明
8	利用者負担上限月額	◎	利用者負担上限月額を入力します。
15	給付率	○	給付率を入力します。（初期表示「90」）
16	個別計画作成	○	個別支援計画の作成状況を選択します。
21	上限額管理の有無	◎	上限額管理の有無を選択します。
22	上限額管理事業者	●	上限額管理が「有」の場合、上限額管理事業者の事業者番号を入力します。 入力後、カーソルを移動で、右欄に上限管理事業者の名称を表示します。

（必須欄：◎必須、●条件付必須、○任意、－入力不要）



加算情報入力

加算要件  
 初期加算/可  
 視聴覚言語/可  
 精障退院 I /未決定  
 精障退院 II /事業所要件不可 /未決定  
 福祉専門職員配置 I /事業所要件不可  
 福祉専門職員配置 II /事業所要件不可  
 医療連携体制 I /可  
 医療連携体制 II /可  
 医療連携体制 IV /可  
 看護職員配置 /事業所要件不可

加算情報

削除 ▶

加算	算定回数
	0

初期加算	利用開始日	30日目	
地域移行加算	入所申算定日	退所日	退所後算定日
入所時加算	開始日	30日目	
退所時加算	入所申算定日	退所日	退所後算定日
施設外支援	施設外日数累計		0

入力完了 キャンセル

加算内容入力項目（必須欄：◎必須、●条件付必須、○任意、－入力不要）

No	項目名	必須	説明
1	加算	○	加算項目を算定する場合、該当する加算名を選択し、当月算定日数を入力します。
	■加算項目		
	② 初期加算	○	初期加算
	③ 視聴覚言語	○	視覚・聴覚言語障害者支援体制加算
	④ 精障退院 I、II	○	精神障害者退院支援施設加算 I、II
	福祉専門職員配置 I、II	○	福祉専門職員配置加算 I、II
	⑤ 医療連携体制 I、II、IV	○	医療連携体制加算 I、II、IV
	看護職員配置加算	○	看護職員配置加算
2	初期利用開始日	●	初期加算を算定する場合、利用を開始した日を入力します。
3	初期30日目	●	初期加算を算定する場合、利用を開始した日から起算して30日目となる日付を入力します。

## 実績内容入力項目（必須欄：◎必須、●条件付必須、○任意、－入力不要）

No	項目名	必須	説明
1	日	◎	提供日を入力します。
2	提供形態	◎	サービス提供形態（通所型・訪問型）を選択します。
3	提供－開始時間	◎	提供開始時間を入力します。
4	提供－終了時間	◎	提供終了時間を入力します。
3	送往	○	片道単位の送迎回数を入力します。
4	送復	○	片道単位の送迎回数を入力します。
5	短期滞	○	短期滞在加算を算定する場合、Ⅰ又はⅡを選択します。 短期滞在加算（Ⅰ）〔夜勤体制〕 短期滞在加算（Ⅱ）〔宿直体制〕
6	食事	○	食事提供体制加算の対象者に対して食事の提供を行った場合、Ⅰ又はⅡを選択します。 食事提供体制加算（Ⅰ） 〔短期滞在加算対象者（継続的利用者を除く）〕 食事提供体制加算（Ⅱ） 〔（Ⅰ）の利用者以外の者〕
7	定員超過	○	定員超過減算の有無を選択します。（事業者マスタで減算有にしている場合はマスタを優先するため、特に入力する必要はありません。）
8	本人実費－項目 1～5	○	本人実費支払項目を選択します。
9	本人実費－金額 1～5	○	本人実費支払金額を入力します。

#### 4 新体系定着支援加算の入力について

新体系定着支援加算を算定する場合は、＜加算＞及び＜実績＞欄を入力し、「請求算定」ボタンを押下した後、下記の要領で算定します。

※ ＜明細＞欄は通常、入力する欄ではありませんが、「新体系定着支援加算」についてのみ、算定単位数が算定月によって変わるため、下記の要領で入力します。

- ① ＜明細＞の「日」欄に「00」と入力し、サービス内容から「新体系定着支援加算」を選択します。
- ② 「単位額欄」に単位額を入力します。  
 ※ 単位額は、「新体系定着支援加算に係る利用実績記録票」により算出した「請求上の新体系定着支援加算に係る算定単位数」を入力します。
- ③ 「数量」欄に算定する日数を入力します。
- ④ 「算定額欄」に単位額に数量を乗じた値が表示されます。
- ⑤ 「登録」ボタンを押下します。（「請求算定」ボタンは押下しない。）

日	サービス内容（請求算定用コード）	単位数	数量	サービス単位数
01	421115 生活訓練 I 2・地公体	645	1	645
00				
*	429148 生活訓練 I 5・地公体・人欠・未計画・期間超			
	429151 生活訓練 I 1・人欠			
	429152 生活訓練 I 1・人欠・期間超			
	429153 生活訓練 I 1・人欠・未計画			
	429154 生活訓練 I 1・人欠・未計画・期間超			
	429155 生活訓練 I 1・地公体・人欠			
	429156 生活訓練 I 1・地公体・人欠・期間超			
	429157 生活訓練 I 1・地公体・人欠・未計画			
	429158 生活訓練 I 1・地公体・人欠・未計画・期間超			
	429990 生活訓練新体系定着支援			
	429991 生活訓練移行時運営安定化			
	429992 生活訓練医療連携体制加算Ⅲ			



日	サービス内容（請求算定用コード）	単位数	数量	サービス単位数
01	421115 生活訓練 I 2・地公体	645	1	645
00	429991 生活訓練移行時運営安定化	150	1	150

## 5 上限管理加算のみを請求する場合

上限管理事業者について、上限管理加算額のみ請求することになった場合の入力方法について、説明します。

通常、国保連合会への請求では、明細書情報と実績記録票情報がセットになっていなければエラーとなりますが、上限管理加算のみの請求の場合には、実績記録票情報は当然ないため、明細書情報のみ送付（この場合、エラーとなりません。）することとなります。

### ①実績実績管理画面の入力

明細の「サービス内容（請求算定用コード）」欄で上限管理加算を選択します。

日付は、「1」と入力します。（他の日付でも問題ありません）

「請求算定」ボタンは押さずに、「登録」ボタンを押してください。

FSD602 テスト事業者正式名 居宅介護等事業所

市町村番号 23100 受給者番号 0000000001 提供年月 24/04 サービス提供単位番号 0 検索

事業所 公立  
21人以上40人以下

利用者 名古屋 太郎 上限月額=0円 補足給付=1,800円 障害種別=知的  
障害程度区分=区分3 旧障害程度区分=区分B 食事対象  
基本 23日/月

加算情報 徴収金額入力

実績	日	曜日	提供状況	サービス提供形態	開始時間	終了時間	送迎	送迎	短期滞	食事	体験利用	定起	員退	本	人
Copy	▶	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
未 目 まで															
土 日 前 除															
行 削 除															

明細	日	サービス内容（請求算定用コード）	単位数	数量	サービス単位数
▶	00	425010 生活訓練上限管理加算	150	1	150

キャンセル 請求算定 登録 全件削除 メニュー

②請求明細管理画面

上限管理結果を「1」または「2」または「3」、管理結果額を「0」と入力し、「計算」ボタン、「登録」ボタンを押してください。

FSD547

市町村番号 23100 受給者番号 0000000114 提供年月 H21/4 検索

受給者氏名 テスト 施設 新障害程度区分 区分3 調整有無 無 就労移行支援 A型減免

利用者負担上限月額 ¥15,000 旧障害程度区分 区分3 地域区分 特甲地 無 雇用型 ¥2,310

上限額管理 有無 有 上限管理事業所の事業所番号 2310000153 上限管理結果 3 管理結果額 0  
 上限管理事業所の事業所名 テスト施設名古屋

日数	サービス種	開始年月日	終了年月日	実日数	外泊日数	入院日数	特例開始	特例終了	利用日数	総和
41		平成21年04月01日	平成22年03月31日	0	0	0			0	
42				0	0	0			0	

年月日 入力

明細	サービス内容（請求算定用コード）	単価	回数	金額	摘要
415010	機能訓練利用者負担上限額管理加算	150	1	150	

請求	種類	利用日数	給付単位数	単価	給付率	総費用額	給付率に基づく		上限月額調整	A型減免		調整後利用者負担額	上限管理後負担額	決定利負担額
							請求額	負担額		事業者減免額	減免後負担額			
	41	0	150	1060	90	¥1,590	¥1,431	¥159	¥159	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	42	0	0	1060	90	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

計算	給付単位数	総費用額	上限月額調整	A型事業者減免額	A型減免後負担額	調整後負担額	上限管理後負担額	決定負担額	
	0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	市町村請求額	特別対策費	自治体助成請求額	特定障害者特別給付費	算定日数	日数	市町村請求額	実費算定額	境界層負費免除額
	¥0	¥0	¥0				¥0		

キャンセル 登録 修正 削除 メニュー

## 6 医療連携体制加算Ⅲの入力について

医療連携体制加算Ⅲを算定する場合は、＜加算＞及び＜実績＞欄を入力し、「請求算定」ボタンを押下した後、下記の要領で算定します。

- ① ＜明細＞の「日」欄に「00」と入力し、サービス内容から「医療連携体制加算Ⅲ」を選択します。
- ② 単位数を計算し「単位数」欄に単位数を入力します。
- ③ 「数量」欄に算定する日数を入力します。
- ④ 「サービス単位数」欄に単位数に数量を乗じた値が表示されます。
- ⑤ 「登録」ボタンを押下します。（「請求算定」ボタンは押下しない。）



日	サービス	単位数	数量	サービス単位数
07	生活訓練 I 5・地公体・人欠・未計画・期間超	68	1	68
08	生活訓練 I 1・人欠・未計画・期間超	607	1	607
09	生活訓練 I 1・人欠・未計画・期間超	68	1	68
10	生活訓練 I 1・地公体・人欠・未計画	607	1	607
11	生活訓練 I 1・地公体・人欠・未計画・期間超	68	1	68
11	生活訓練 新生活系定着支援	607	1	607
11	生活訓練 移行時運営安定化	68	1	68
11	生活訓練 医療連携体制加算Ⅲ	68	1	68
00	生活訓練 医療連携体制加算Ⅲ			

ボタン: キャンセル | 請求算定 | 登録 | 全件削除 | メニュー

日	サービス	単位数	数量	サービス単位数
08	生活訓練 食事提供	68	1	68
09	生活訓練 I 2・地公体・未計画	607	1	607
09	生活訓練 食事提供	68	1	68
10	生活訓練 I 2・地公体・未計画	607	1	607
10	生活訓練 食事提供体制加算Ⅰ	68	1	68
11	生活訓練 I 2・地公体・未計画	607	1	607
11	生活訓練 食事提供体制加算Ⅰ	68	1	68
00	生活訓練 医療連携体制加算Ⅲ	500	1	500

単位、数量は各事業所で計算し手入力で行ないます。

ボタン: キャンセル | 請求算定 | 登録 | 全件削除 | メニュー

【医療連携体制加算（Ⅲ）の算定方法】

以下の数式に当てはめて日単位で案分して単位数を算出した上で、当該単位数を合算して月単位で請求する。

$500 \text{ 単位} \times \text{看護職員数}$	$\div$	<b>当該月の事業所の利用者のうち、<u>たんの吸引等が必用な利用者数</u></b>	$=$	1人当たり単位数／日 * 1単位未満(小数点以下)の端数については「切り捨て」とする。
--------------------------------------	--------	---	-----	--

例)

4月中に、たんの吸引等が必用な利用者が3人いる事業所に、4月1日は看護職員2人が、4月20日は看護職員1人が介護職員等にたんの吸引等に係る指導を行った場合

- ・  $(500 \text{ 単位} \times 2 \text{ 人}) \div 3 \text{ 人} = 333.3 \text{ 単位} \rightarrow 333 \text{ 単位/日 (4月1日分)}$
  - ・  $(500 \text{ 単位} \times 1 \text{ 人}) \div 3 \text{ 人} = 166.6 \text{ 単位} \rightarrow 166 \text{ 単位/日 (4月20日分)}$
- $\Rightarrow 333 \text{ 単位} + 166 \text{ 単位} = \mathbf{499 \text{ 単位/月 (4月分)}}$

この例で言えば、計算によって算出された「499単位」を提供実績管理画面の明細欄にある単位数に入力します。

※注 意※

$(500 \text{ 単位} \times 3 \text{ 人}) \div 3 \text{ 人} = 500 \text{ 単位/月}$ とするのではない。